

平成24年度事務事業評価シート

取組みコード

33111、3

区分	補助金・交付金	担当課	健康長寿課	作成日	H24.5.25
事業名	単位老人クラブ等運営費補助金/町老人クラブ連合会補助金	開始年度		予算科目	3.1.4.4.3

1. 事業の概要

総合計画での位置づけ					
部	第3部 健康でゆとりとふれあいのまちづくり	章	第3章 ゆとりと生きがいのある高齢者施策の推進		
節	第1節 生きがいづくりと社会参加の促進	基本施策	1 多様な活動への参加促進		
取組みの基本方向	(1)寿大学や各種趣味の教室など高齢者のニーズに応じた生涯学習機能の充実をはかります。 (3)シルバーボランティアの養成と老人クラブの友愛チームの活動を促進します。				
根拠法令等	【町老連・単位老人クラブ共通】愛川町補助金の交付等に関する規則 【単位老人クラブのみ・H24.4.1施行】愛川町老人クラブ運営社会活動促進事業補助金交付要綱				
目的 (誰・何を対象に、何のために)	【町老連】町全体の高齢者のいきがいの増進、健康増進、社会奉仕意識の醸成、その他高齢福祉の向上 【単位老人クラブ】地域で高齢者が自主的に行うさまざまなクラブ活動等を通じての高齢者同士の仲間づくり、生きがいや健康づくりの促進及び活性化				
内容・方法 (何を行っているのか)	【町老連】スポーツ振興(ゲートボール大会・ターゲットバードゴルフ教室)、次世代等とのふれあいレクリエーション、福祉の月事業、文化教養振興活動(寿大学・カラオケ教室・囲碁将棋大会・百人一首大会)、社会奉仕活動、その他研修 【単位老人クラブ】各種軽スポーツ(ゲートボール・ターゲットバードゴルフ・グランドゴルフ・ペタンクなど)、趣味の活動(カラオケ・囲碁将棋等)、旅行、社会奉仕活動(公園・道路等清掃)、次世代交流(小学生・保育園児)、一人暮らし等高齢者訪問等。 【団体の繰越金額】別紙のとおり				

2. 指標(事業の成果・活動内容等を数字で表します)

本事業が属する総合計画の 節の成果指標		指標名		平成21年度		平成28年度	
		『生きがいづくりと社会参加 の促進』について「満足」と感 じる住民の割合(%)		36.9		42.0	
成 果 指 標	老人クラブ会員数(人)	増減	指標の説明	項目	基準年度 (H 22年度)	平成22年度	平成23年度
				計画値		2,096	2,102
				実績値	2,102	2,102	2,089
活 動 指 標	予算執行率(%)		当初予算額に対する執行額の割合	達成度※自動計算		100.3	99.4
				計画値		100.0	100.0
				実績値	100.0	100.1	100.0
				達成度※自動計算		計測不能	計測不能
						計測不能	計測不能

※ 増減欄は、指標の値について、増加が望ましい場合に「増」、減少が望ましい場合に「減」を記入する。

3. 事業費の推移と財源内訳

(E) 平均人件費(円/年) 8,300,000

年 度		基準年度(決算) (H22年度)	平成22年度(決算)	平成23年度(決算見込)	平成24年度(予算)
(A)事業費(円)		2,737,790	2,737,790	2,596,800	2,598,000
(B)概算職員数(人)		0.100	0.100	0.100	0.100
(C)=(B)×(E) 人件費(円) ※自動計算		830,000	830,000	830,000	830,000
(D)=(A)+(C) 総事業費(円)※自動計算		3,567,790	3,567,790	3,426,800	3,428,000
単位当たりコスト※自動計算		1,697.3	1,697.3	1,640.4	
財 源 内 訳 (円)	国庫支出金				
	県支出金	590,000	590,000	529,000	529,000
	地方債				
	その他				
一般財源※自動計算		2,977,790	2,977,790	2,897,800	2,899,000

4. 事業の項目別評価(分析)

項目	判定基準	判定 ※一部自動判定	評価 ※自動判定
妥当性 (公費を投入して実施することが妥当な事業か)	公益性：直接的である、間接的であると問わず、事業の実施による効果が不特定多数の人に広く及ぶ性質か 必要性：当該事業を実施しなければ町民生活に支障をきたすなど、必要不可欠なものであるか	高 高	A
有効性 (基準年と比較して成果が上がっているか)	成果指標について平成23年度の目標を達成している 基準年度と比較して成果が向上している	×	C
効率性 (なるべく費用をかけずに成果を上げているか)	基準年度と比較して費用の縮減ができている (判定基準) A 成果が向上していて、費用も縮減している B 費用が増加しているが、費用の増加率よりも成果の向上率の方が高い C 成果が低下しているが、成果の低下率よりも費用の縮減率の方が高い D 成果が向上しているが、成果の向上率よりも費用の増加率の方が高い E 費用を縮減しているが、費用の縮減率よりも成果の低下率の方が高い F 費用が増加し、成果も低下している	向上成果率 99.38% 縮減費用率 96.05%	B
総合評価 ※自動判定		改善すべき点がある	

5. 特記事項

平成23年度に補助金5%カット済み。

6. 1次評価(担当課)

評価結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由	平成23年度に補助金5%カットを行っており、高齢者人口の増加・老人クラブによる地域活動の必要性の高まりに反比例して、活動に対する補助金をこれ以上削減する必要はないため。		
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 日頃からの高齢者等の見守り需要の高まりを背景に、高齢者による高齢者の見守り活動『友愛チーム』の増加させる必要がある。 今後、団塊の世代の定年退職により、経験や知識・体力のある人材が増える。この人材を老人クラブ活動を通じて、地域の活動に活用できるように、クラブ活動を展開することができるよう創意工夫が望まれる。 		

7. 2次評価(庁内行政評価委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等	当面は町としての会員数の増加の取組みの支援を検討すること。		

8. 外部評価(行政改革推進委員会)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
今後の方向性に係る意見等			

9. 外部評価(実施のない場合は2次評価)を踏まえた対応案(担当課)

高齢者による高齢者の見守り活動『友愛チーム』、高齢者サロンの増加をはじめ、魅力ある町老人クラブ事業を展開し、会員数の増加を図る。

10. 町の最終方針(行政改革推進本部会議)

評価結果	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善して実施する	<input type="checkbox"/> 廃止
理由 改善方針	町老人クラブ事業に関する周知等、町の支援を強化する。		